

自分らしく 住み慣れた地域・家で 暮らし続けるために

幸樹会館完成記念講演会・祝賀会を開催

8月27日(土)、看護小規模多機能等複合施設「幸樹会館」完成祝賀会が開催されました。第一部では宮崎和加子さんが記念講演。第二部の祝賀会には、本郷谷健次松戸市長をはじめ、市議会議員、医療・介護・福祉関係者、近隣の住民、町会・自治会など100人を超える皆様にご参加いただきました。

完成した幸樹会館で、9月1日から新設の看護小規模多機能居宅介護さんしょうがオープンするとともに、からたち薬局・介護ショップからたち(9/5移転)、あんず訪問看護ステーション、あんず居宅介護支援事業所、ケアステーションゆず(8/28移転)が事業を開始します。今後とも、ご指導ご援助をよろしくお願い申し上げます。



▲記念講演をする宮崎和加子さん



第二部祝賀会では、以下の皆様方からご祝辞をいただきました。松戸市長・本郷谷健次様、医療法人社団 鼎会理事長・斉藤丈夫様、鼎会顧問・理事・前千葉大病院副院長・高林克比古様、飯沼アソシエイツ・飯沼芳樹様、千葉銀行八柱支店長・吉田克己様、千葉健愛会あおぞら診療所院長・川越正平様、健和会顧問・前東京都保健医療福祉協議会議長・増子忠道様、鼎会三和病院院長・渡辺修様、松戸市東部高齢者生き生き安心センター所長・広谷明子様、松戸市訪問看護ステーション

連絡協議会会長・佐塚みさ子様、日暮7丁目町会・宮城肇様。また、松戸市議会からは、まつど自民・鈴木大介様、日本共産党・平田きよみ様の市議の皆様にご出席いただきました。また、幸樹会館の設計及び施工をお引き受けくださいました高村デザイン事務所代表取締役・田中裕也様、大成建設株式会社取締役常務執行役員・吉成泰様には、感謝状と記念品の贈呈させていただきました。ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。



▲あいさつする中野三代子代表理事。▲感謝状・記念品贈呈。



▲本郷谷松戸市長
幸せの木で地域に森をつくる
という法人名の由来、剰余金を
配分しないという非営利型法人
の理念もすばらしい



▲「医師会も協力連携して」あおぞら診療所・川越先生



▲「兄弟法人のように力を合わせ」左から斎藤・渡辺修・高林先生



▲飯沼さん「親の介護が必要なときにあったら」

▲訪問看護・佐塚さん

▲地域包括
広谷さん



▲千葉銀
吉田さん

▲日暮7丁目
町会・宮城さん

▲健和会顧問・増子先生
鼎会三和病院の開設と、
幸樹会の事業展開は奇跡。
なによりも地域の皆さん
に、おめでとう



▲幸樹会ハンドベル部と手話部による演奏



▲30人を超える職員に。ご期待に応えてがんばります。

記念講演「住み慣れた地域・家で自分らしく暮らし続けるためにー医療・介護・地域の共同づくり」

講師・宮崎和加子さんの紹介と講演要旨

○講師紹介○

現一般社団法人だんだん会代表理事。前全国訪問看護事業協会事務局長、元健和会訪問看護統括所長。山形県生まれ。2002年若月賞受賞。

「在宅・施設での看取りのケア」（日本看護協会出版会）「だから訪問看護はやめられない」（メディカ出版）、「認知症の人の歴史を学びませんか」（中央法規出版）など、多数の著書・共著がある。

○講演要旨○

住み慣れた地域・家で生活することが困難になるのは、がん・管がついた重介護・医療依存度の高い人、認知症の人、重度障がいの小児、精神障がい者など、ひとり暮らし・高齢者世帯・貧困等の問題が絡み合った多問題を抱えた人々です。特別な人々ではなく、誰でも未来に直面する可能性のある問題です。この方々が、どこで、誰の支援を受けて、生活し、生きていくのか、死はその延長線上にあります。

看護小規模多機能型居宅介護事業所（略称・看多

機）は、「医療ニーズの高い人が地域で暮らし続ける」「病院から自宅退院をスムーズに」「施設に入らないで自宅で生活する」「地域・自宅での看取る」ことを実現する機能と役割があります。

人間はひとり一人違って当たり前、だから誰かと一緒に生活する、共同することは簡単ではありません。自分の考えをしっかりとち“わがまま”を言ってみる。それを周囲の人々が聞き、叶える努力をする。共同の生活は、意識して・勉強して・自覚してできるものと、フィンランドの共同住宅を訪問したときにあらためて学びました。

看多機は、人間ひとり一人の違いを尊重し、「自助」「共助」の力を創り出し、地域内支援力を高める触媒の役割を果たす可能性があります。

社会保障の改悪はひどいものがありますが、それに嘆き手をこまねいているだけでは未来は開かれませんが、住民とサービス提供関係者が、主体的に立ち上がり、医療と介護・地域の共同づくりを進めていきましょう。

幸樹会館内覧会&第4回地域交流カフェをひらきました！

8月30日、幸樹会館内覧会・第4回地域交流カフェをひらきました。この日もお足元の悪い中、40名もの方が参加してくださいました。前日、看護師村里さんを中心に苦戦しながらも作った幸樹会のロゴマークをかたどったクッキーやシフォンケーキ、利用者さんと一緒に淹れたコーヒーも大好評でした！お風呂のお試しや、いろんなベッドマットレスや介護食器もみて触れていただくことができました。さんしょうの中を見ていただいたり、サービス内容の説明をご説明する時間をいただき、まだあまりなじみのないサービスについて少しご理解をいただけたように思います。随時見学・相談を受け付けております。いつでもいらしてください☆

また、あんず訪問看護ステーションの利用者さんで亡くなられた方の奥様も来られて、懐かしい写真を見ながらお話することもできました。常に開かれた場所でここにあれば、こういうグリーフケア（身近な人を亡くした方への支援）の時間も大事にできると感じることもできました。

来てくださった皆様、誠にありがとうございました！



第5回地域交流カフェのお知らせ 10月18日（火曜日）時間未定

講師に、高林 克日己先生を迎えて、「高齢者終末医療 最良の選択」というテーマに基づいてお話いただく予定です。詳細が決まりましたらまたご連絡いたします。

からたち薬局は、 9月5日に

三和病院玄関前の幸樹会館に移転します！



8月の発電量は・・・

1.573kwh

* 幸樹会は再生可能エネルギーの普及を
理念に掲げています。

幸樹会館屋上のソーラーパネルで発電しています。

幸樹会基金募集中

幸樹会は、基金制度をもつ非営利型一般社団法人です。在宅ケア事業の発展と法人の財政基盤を健全なものにしていくための基金を募集しています。

基金は、1口1万円（何口でも可）。協同組合や生協の出資金制度と共通で、基金は法人の自己資本となりますが、条件を満たした時には返済をいたしません。お問い合わせは、幸樹会本部まで。

定期勉強会

●前回報告 8月19日（金）実施

テーマ「ノーマライゼーション・エンパワメント・ICF…④生活不活発病を防ぐ」

講師 武井幸穂氏

【参加者感想】

今回は、16名の参加。職員以外の介護関係者1名、地域の方3名のご参加を頂きました。今度は、幸樹会館で大きな場所で、場所もわかりやすくなるので、ぜひご参加ください。

どなたでも参加自由です。お待ちしております。

●次回学習会予定

日時：9月16日（金）18：30～19：30

テーマ：徳永進『在宅ホスピスノート』から。前回
さわりを紹介したら、好評でしたので、
もう少し読んで見ましょう。

* 場所：幸樹会館2階 * 参加自由

ケアステーションゆずブログ開設！

<http://ameblo.jp/yuzu-kouzyukai/>

*「ケアステーションゆず ブログ」で検索できます

●幸樹会ホームページ

<http://www.kouju-kai.or.jp/>

●からたち薬局

<http://ameblo.jp/karatachi-p/>

*「からたち薬局 ブログ」で検索できます

●あんず訪問看護ステーション <http://ameblo.jp/anzu-kouju-kai/>

*「あんず訪問看護ステーション ブログ」で検索できます

一緒ににはたきませんか！？

**薬剤師・看護師・介護職員・ケアマネ
ジャーの方々、お待ちしております☆**

連絡先 一般社団法人幸樹会本部 中野三代子

住所：千葉県松戸市河原塚 411-1

TEL：047-701-7550

E-mail：miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp

編集後記

いよいよさんしょうが始まりました。幸樹会の大きな目標だったさんしょう開設の日をついに迎えることができました。それもこれもたくさんの方が私たちを応援し、支えて下さったからです。ここからが新たなスタート。想像力を豊かに着実に前へ進んでいきます。これからもよろしく願いいたします（奥村万里子）